

<<最先端三次元形状測定評価システムの遠隔操作について>>

最先端三次元形状測定評価システム（以降、3D-CMM）は令和3年5月から遠隔操作ができるようになりました。遠隔操作には『team viewer』というソフトウェアを使用します。

<https://www.teamviewer.com/ja/>

team viewer を使用するには、上記 URL から無料ダウンロードでソフトウェアを取得し、パソコンにインストールしてください。

team viewer を使用すると、

3 D-CMM 遠隔操作 PC のデスクトップが、自分のパソコン上に現れます。これにより 3D-CMM の設置された測定室から離れた場所から、測定プランの実行、測定状況の監視、をすることができます。

3 D-CMM 遠隔操作 PC には、**本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント以外からはアクセスできません**ので、まずセンター小林さん kobayashi@cia.uec.ac.jp に連絡して「**本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント**」を取得してください。

上記アカウントを取得後、設備管理者が遠隔操作に必要な**パートナーID、パスワード**を教えます。

<<遠隔操作のルールについて>>

ユーザ：測定評価を行いたい被測定物を持ち、目的に沿った測定評価項目を用意できている者

スーパーユーザ：取扱説明を受講し、所定の審査を経て、単独での測定機器の取り扱いを許可されたもの者

(1) スーパーユーザが自ら**遠隔操作により機器を使用する場合、必ず設備予約システムでその使用時間帯を設備予約してください。**

(2) 遠隔操作で測定プランを実行する場合、下記の事前準備、事後片付けが必要です。

事前準備：3 D-CMM 及び周辺機器を含む測定システムの電源投入と起動、治具の準備、測定機上への被測定物の設置、測定のための初期セットアップ、測定プランの作成

事後片付け：測定データの回収、測定機上から被測定物の撤去と治具類の後片付け、3 D-CMM 及び周辺機器を含む測定システムの終了と電源遮断

他研究室のユーザのために 3D-CMM スーパーユーザの仕事をしてくれた人には、研究設備センターから時間単位で謝金をお支払いします。

他のスーパーユーザに準備や片付けを依頼する場合でも、遠隔操作を希望するスーパーユーザ自身が設備予約を行ってください。

所属の異なるスーパーユーザに準備や片付けを依頼した場合は kanamori@mce.uec.ac.jp まで連絡をお願いします。

その他、不明な点は設備管理者 kanamori@mce.uec.ac.jp までお問い合わせ願います。